

管路部会東日本支部が発足

JERRコンクリート補改修協会

マンホール更生工法の普及拡大へ

JERRコンクリート補改修協会は管路部会の東日本支部、西日本支部を発足させ、協会が持つ下水道管路の更生・補修工法の普及拡大を図る。このほど、東日本支部の発足総会を都内ホテルでリモート中継を併用して開催し、事業計画や役員を



池田支部長



井上部会長

決めた。東日本支部には27社・事業所が加盟することになり、支部長には池田英俊・上下水管理工業専務取締役が就いた。支部会員に対して更生工法(ジックボードM/J工法)に関する研修会や、支部管轄の事業体・コンサルタント・現場セネコンなどの元請け企業などに対しての説明会・勉強会を開催していく。協会ホームページの充実や、管路部会・東日本支部の知名度向上のための広報宣伝にも注力する方針。

東日本支部発足にあたり井上敬介・管路部会長(日本シッコウ更生開発部統括部長執行役員)

は「管路部会では主にマンホール更生の分野で活動を進めているが、東日本支部の皆様が手を携えて協力することで、さらに活発な活動となることに期待している」と述べた。池田支部長も「引き

続き課題に取り組んでいく。当協会に課せられた社会的使命と役割を認識し、各社をはじめ関係省庁、関連団体の協力を得て万全を尽くしたい」と意気込んだ。

なお、発足総会では研修会も併せて実施。事務局(日本シッコウ)からマンホールの更生工法と防食工法を併せ持つ「ジックボードM工法」の日本下水道新技術機構における審査証明の進捗状況が説明されたほか、宮入篤・日本シッコウ顧問(前日本下水道新技術機構技術評価部長)が講師を務め、「下水道管路に関する最近の動向」をテーマに下水道事業の実施状況や施策、管路の老朽化対策の仕組み、施工における品質管理の重要性、マンホール更生工法について解説した。